

大腸粘膜下層剥離術を受けられる方へ

患者氏名( )

処置日( )

主治医( )

担当看護師( )

	術前( )	術後( )	1日後( )	2日後( )	3日後( )	4日後( )	5日後( )	6日後( )
達成目標	治療内容の必要性を理解し、治療の準備が出来る。	①明らかな下血の徴候がない。	①治療後出血が無いことが確認される。	①治療後出血が無いことが確認される。	【重点アウトカム】 ①食事が開始されても出血が見られない。	【重点アウトカム】 ①食事が開始されても出血が見られない。	【退院基準①】 出血がない。	【退院基準①】 出血がない。
		②腹膜刺激徴候がない。	②腹膜炎刺激兆候がない。	②腹膜炎刺激兆候がない。	【重点アウトカム】 ①食事後腹痛が出現したり増強しない。		【退院基準②】 退院後(次回外来受診まで)の治療や注意事項を理解できる。	【退院基準②】 退院後(次回外来受診まで)の治療や注意事項を理解できる。
		③バイタルサインが安定している。	③疼痛のコントロールができる。	③疼痛のコントロールができる。				
		④疼痛のコントロールができる。						
薬剤	持参薬があれば提出してください。							
注射	 術前: 午前11時頃から点滴が始まります。	 処置後もしばらくは点滴が続きます。						
処置	点滴の準備をします。							
検査		処置時間はその日の担当者より説明があります。また処置後は心電図や酸素が付きま	 臨床検査; 早朝採血 問題なければ心電図モニター除去。					
安静度	検査までは制限ありません。	 検査後床上安静です。トイレ歩行は看護師付き添いのみ可能です	検査結果や腹部症状等問題なければ安静度に制限はありません。その日の担当者より説明があります。	制限なし。 				
食事/水分	 絶食・飲水問題なし。	処置後は担当者より説明があります。			朝から流動食が開始予定です。	朝から5分粥へ。	朝から全粥	朝から軟飯
看護	清潔		 清拭施行。必要時洗髪。	 シャワー可能				
	排泄	 便の状態を観察します。排便あればNscallをお願いします。	トイレ歩行は看護師付き添い必要です。ナースコール押して下さい。					
観察	 何か症状あれば必ずナースコールをお願いします。							
教育・説明	薬剤説明 	薬剤師による服薬指導				 薬剤師の服薬指導		
	教育・説明	入院時オリエンテーション。クリバス用い説明、指導を行います。※承諾書などは看護師にお渡し下さい。	腹痛、嘔気や嘔吐あればNsコール。排便あればナースコールでお知らせ下さい					退院は10時退院になります。※入院に際し必要な書類等は入退院ロビーまで直接お持ち下さい。

上記の内容は個々の状態に応じて内容が異なりますのでご了承下さい。尚、ご不明な点がありましたら看護師にお尋ね下さい。  
入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリは検査や処置時は取り外しをお願いします。  
また、入院中のお化粧品もご遠慮下さい(顔色確認の為)

## <退院後の生活>

### <食事>

退院後2週間は消化がよく軟らかいものを摂りましょう。固いものは出血を引き起こす原因となります。また、タバコや刺激物(炭酸・コーヒー・アルコール)も基本的に2週間(次回受診日まで)は禁止です。

### <入浴>

熱い湯・サウナ・長風呂は出血の原因となりますので基本的に2週間(次回受診日まで)は避けましょう。

### <排泄>

便の状態を観察しましょう。

腸: 赤っぽい便であれば出血の可能性があります。

※上記のようなことがあれば病院に連絡をし状態をお伝えください。

